

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	AKIDS あべの		
○保護者評価実施期間	令和7年2月15日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	令和7年2月15日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達専門医監修の個別運動療育ということで、医療との連携している。	医師をはじめとする各分野の専門家と連携して調査研究しています。そこで得られた最新の知見は支援の実践へ活かしています。 また、保護者様からの問題・相談を医療の点から医師・専門家Q&Aとして回答している	学会・医学会にて研究成果を発表中。
2	1枠、少人数制でマンツーマン指導による療育を行っている。	最大人数が3人までなので、十分に動けるスペースがある。 また、マンツーマン指導なので、児童が療育の内容を理解しやすい。	新しいプログラム等を事業所と医師・専門家との連携で立案中。
3	保護者様が常に見学するスペースがあるので安心していただいている。	保護者様に見学できるスペースをつくり、支援の終わりには必ず保護者様にフィードバックを行い、本日の療育内容とその時点でのご相談や変更等を受け付けれるように時間を設けている。	保護者参加型の療育内容等を広げていければと検討中。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が弱い。	園・学校・地域とのやりとりがあまりない、何か行えることを考えていきたい。	日頃からの関わりを大切にし関係を深めながら連携できることを検討していく。
2	運動療育をする中で、指導員の運動能力に差があること。	指導員には子供と関わる前に(療育に)運動の研修を行っているが、個々の能力(運動経験者)に差がある。	運動に経験があるなしで、研修内容を変更するか検討する。
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 AKIDS あべの

公表日 令和7年3月1日

利用児童数 39人

回収数 10人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9				1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10						
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1		1	子どもの運動能力に向上されるような専門性は感じない。	AKIDSラボ（専門医監修）の基に運動療育を行っている、職員は運動・専門性の研修を1カ月行った後に支援にあたっているが、より一層支援の質を向上するように努めてまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1			HPで載っていた内容を期待していたが、実際の内容とは違っているように感じる。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9				1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9				1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1			1	相談して支援計画を立てていただいたが、実際の活動に反映されているかどうかは疑問に思う。	疑問に思った点をお話いただき、解決していきたいです。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				7	3		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		3	6			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	1			1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1			3		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。			1	2	7	保護者同士の交流はAKIDSでは必要ありません。きょうだいへのせいも我が家は一人っ子なので必要ありません。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1			1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1		5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1		2	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	9		1		子供は楽しく通っているが、遊びの要素が多く、期待していた内容が少ない。今のプログラムでは子供の運動能力が向上されるとは思えず不安である。担当いただく先生の専門性や運動能力に差がある。	一定した支援が行えるように、研修等でより一層支援の質を高められるように努めてまいります。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		AKIDS あへの		公表日		令和7年 3月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6		マンツーマン指導での療育になっている。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6		エレベーターからすべてバリアフリーになっている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		毎日掃除を行い、器具や道具は拭き消毒を行っている。また児童が過ごしやすいように物は常に整頓されている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	1	必要に応じてパーティションでの個別化は可能である。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6		初めの支援計画ができた時には児童の情報共有を行い、利用4回に一回を総括として課題や見直しを記録に残し、職員全員が見直せるようになっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		保護者向け評価表の結果をもとに、業務改善の会議時間を設けた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		毎日、朝礼、終礼時間を設けて職員全体で話し合っている。 また、定期的に個別での面談も行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			6	第三者評価はしていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		定期的な研修は法人内で開催する機会が確保されている。 また、自主的研修を行い職員全員に周知することもある。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		支援内容はその日のフィードバックで保護者様にお伝えしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6		保護者様からのアセスメントと相談支援計画書、また発達検査結果などを提供していただき、総合的に支援計画書を作成し、医療、専門家監修のもと運動療育のプログラムが作成されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		支援計画書の原案をもとにして、個別支援会議を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		支援計画書、利用した支援記録はファイル化し、毎回支援前に支援計画書と前回までの様子が分かるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		標準的アセスメント表を基に、保護者様の聞き取り、発達検査結果等で確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6		児童発達支援のガイドラインを基に、項目に分けて支援計画書を製作している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6		プログラムの立案は職員全体で考えている。	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		児童が練習したい種目を除いては、基本的に違うプログラムを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動は児童に合わせた活動で、集団に関しては、集団で行いつつも個々の指導員が見守り児童に合わせるように配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日、朝礼にてその日の支援内容や役割分担を確認し、連携した支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その日の終礼では振り返りや情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎回の支援の内容を記録としていて、また4回に一回程度で総括としてまとめた記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的面談を行い、新たにアセスメントをして見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自分がやりたいプログラムの提案やサーキット等の遊びの提案を考案してもらっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		相談支援事業所との情報共有を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		AKIDSラボ（専門医、和合病院精神科棟近孝之、村上友香理(関西医科大学健康科学)との連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	5	保護者送迎を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	今回初めてなので、できるだけ情報共有をに努めたい。 相談支援員さんとの共有では行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6	対象児童がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	現在は無い。	今後は交流の機会を持つことを検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6	現在は無い。	今後は参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		6	毎回の療育内容を保護者様にフィードバックし、その時の課題や問題点を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	同法人の他事業所では家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているので今後行う予定。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明し、重要事項説明書、支援計画、利用者負担額については説明後サインをいただいている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		児童のやりたいことや目標、保護者のアセスメントを五領域から質問しニーズをお伺いしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援計画書を提示しながら、ご説明し同意の上サインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		常に、ラインやフィードバック時に相談面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	きょうだい支援を行い、交流する機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		子どもや保護者からの苦情があった場合、事実確認後、迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		HPやSNS、LINE等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き棚に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚支援を用いたり、音や合図でのコミュニケーションを図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	行われていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	職員全員避難訓練に参加し、マニュアルも閲覧しているが、保護者様は参加できていない。マニュアルも閲覧できていない。	マニュアルはいつでもだれでも閲覧できる場所に置けるようにスペースをつくる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		避難訓練は年に2回行う。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		保護者様とのアセスメント時やフェイスシートでの書き込みで確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者様からアレルギーについてある無しの確認を行い療育に関係するか否かを聞いて確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	避難訓練は年に2回行う。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者送迎の利用。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保し、全員認識できている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在対象児童がいない。		